

平成26年度 県産木材利用推進プロジェクト会議 の活動実績

平成26年度 木材生産拡大の活動実績について

- 1 木材生産拡大チームのメンバー構成
- 2 木材生産拡大チームの会議開催状況
- 3 木材生産拡大の活動状況



1

1 木材生産拡大チームのメンバー構成

(座長)佐賀県森林組合連合会 参事

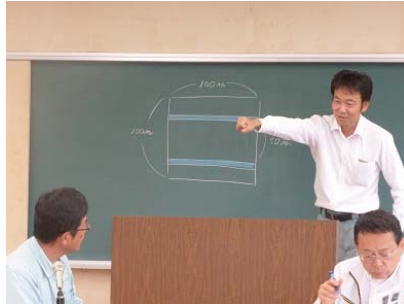
- 森林組合(参事・業務課長等 5名)
- 佐賀森林管理署(地域林政調整官、森林技術指導官 2名)
- 市町(林務担当課 1名)
- 県(農林事務所、林業課、森林整備課 6名)

これらの機関・団体の関係者、合計14名で構成

2 木材生産拡大チームの会議開催状況

- ・ 県産木材の生産拡大に向けて、低コスト木材生産のための作業システムやクレーク整備用丸太の供給体制等について検討するとともに、低コスト推進部会を開催し、モデル地区等での現地検証等を行いました

- ・ 第1回（5月13日）：チーム合同会議、活動実績と活動計画について
- ・ 第2回（10月29日）：低コスト木材生産モデル地区のコスト分析等についてクレーク整備用丸太の需給状況について
- ・ 第3回（12月17日）：低コスト木材生産モデル地区の取組状況についてモデル地区現地検討会
木材生産向上のための手引き内容について



3

3 木材生産拡大の活動状況

(1) 低コスト木材生産モデル地区の設定

- ①間伐モデル地区(1地区)【嬉野市嬉野町】
- ②皆伐モデル地区(1地区)【唐津市七山】

(2) 高性能林業機械のレンタル支援

県産木材生産拡大高性能林業機械のレンタル支援事業の推進
6つの林業事業者がレンタル実施(計11台)
(プロセッサ2台、ハーベスタ3台、スイングヤーダ1台、フォワーダ5台)

(3) 提案型集約化施業等先進地事例研修会の開催

- ①有限会社安田林業(広島県)
経営方針・組織体制・安全優先の人材育成の取組等
- ②石央森林組合(島根県)
林業ビジネスモデル構築プロジェクトの取組
先進的林業機械実証などの取組等

(4) 「木材生産性の向上のための手引き Ver.1」の策定

低コスト木材生産モデル地区(H19～)等のコスト分析結果や生産拡大の取組を手引きとしてとりまとめ、関係者へ提供

4

(1) 低コスト木材生産モデル地区の設定

1 木材生産拡大プロジェクト計画 (H26)

生産コスト調査



低コスト木材生産モデル地区の設定・・・専技

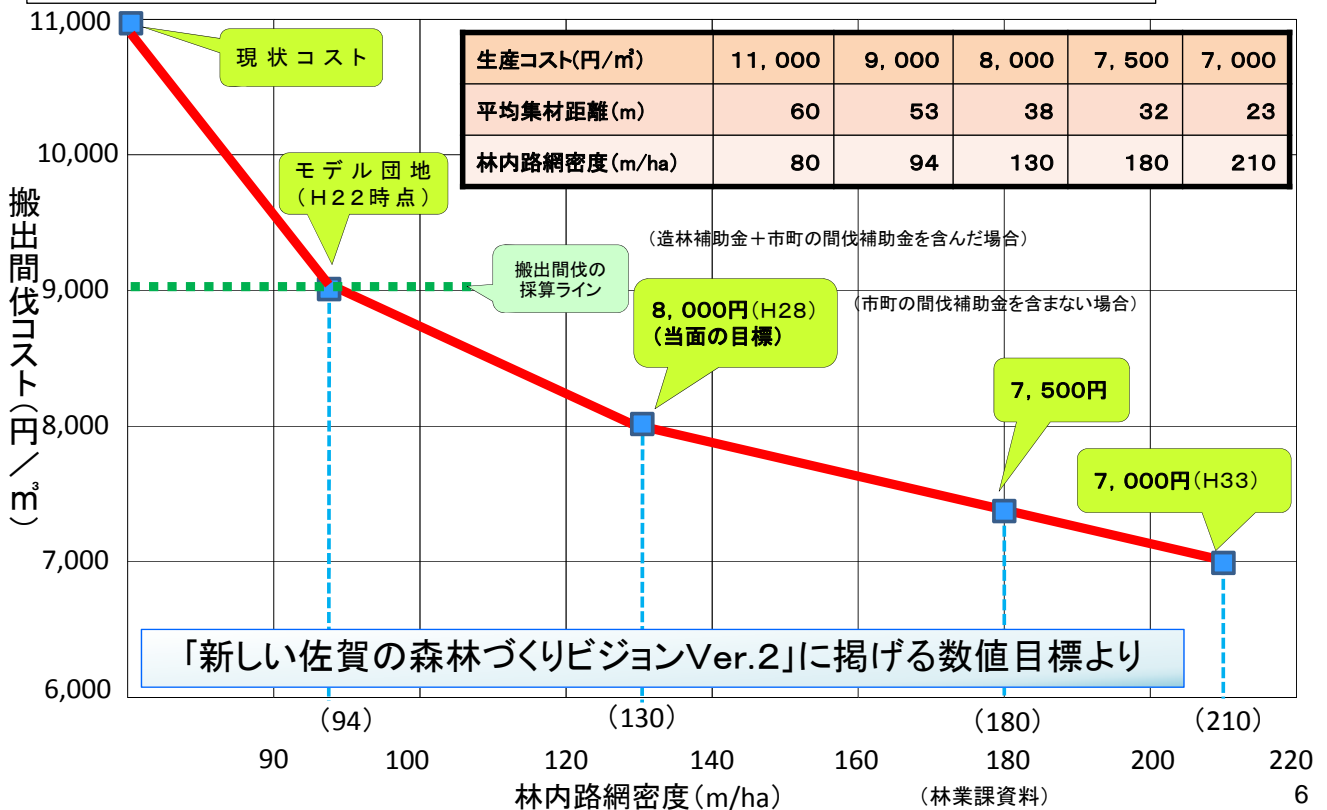
- ・間伐モデル地区 1地区 (嬉野市)
- ・皆伐モデル地区 1地区 (唐津市)
- ・各農林事務所を通じてH25年度の各地区の搬出間伐のコスト分析調査を実施 (34地区)

平成26年度 低コスト木材生産モデル地区設定 (実績)

管内・区分	間伐モデル地区1地区、皆伐モデル地区1地区		
	間伐・皆伐	団地設定・施業実施	活用事業
鹿島農林	間伐モデル地区	西吉田 (鹿島嬉野森林組合)	造林事業
唐津農林	皆伐モデル地区	藤川 (まつら森林組合)	唐津市有林

参考

搬出間伐コストと林内路網密度の関係 (試算)



(1) - ① 間伐モデル地区 集約化の実績 西吉田地区(嬉野市)



【森林施業プラン作成実践者談】

○今回、搬出間伐団地で初めて森林施業プランを作成した。プランを基に説明することにより、列状間伐や森林作業道の開設について、森林所有者からの理解が得られやすかった。

○森林作業道の開設については、ハーベスタによる直接集材が可能な路線で開設を行った。しかし、山腹勾配を見誤りプラン提案時から事業費の変更が生じたため、今後は、事前調査を十分行い、プランの正確性を高めていきたい。

○ストローク式のハーベスタを活用したことにより、ヒノキの枝払いスムーズだったものの、機械オペレータが操作に不慣れだったため、造材作業に時間を要した。

○周囲が茶畑であり、土場が現場から離れたため運搬経費がかかった。

○結果として、素材生産量は当組合では平均的な数値にとどまっていたが、今後は機械オペレータの運転技術の向上や効率的な搬出方法、工程管理を行う等、生産性の向上を図りたい。

西吉田地区(嬉野市嬉野町吉田)

施業面積 : 6.93ha(所有者数:7人)
【0.99ha/人】

樹種・林齢 : スギ2割、ヒノキ8割(40~50年生)

素材生産量 : 335m³【48m³/ha】

施業方法 : 列状間伐(4残1伐)＋一部定性

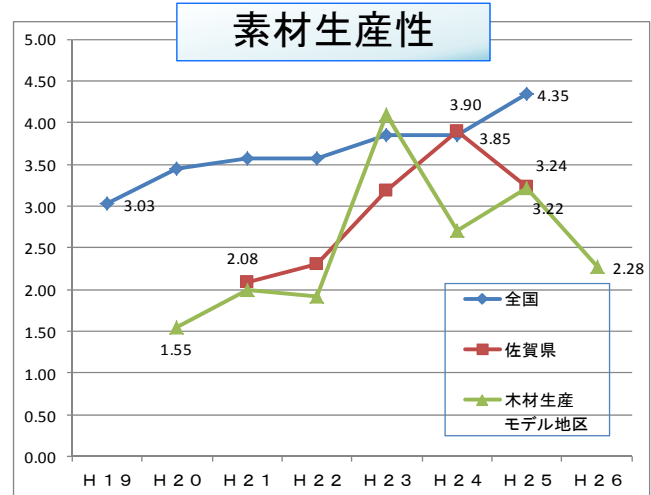
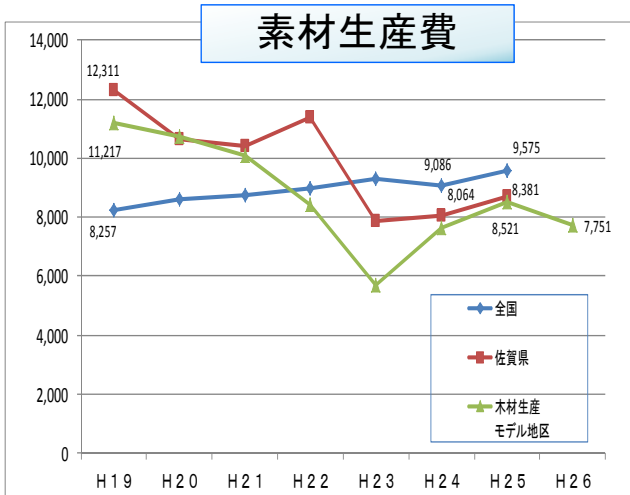
作業システム: 伐採 チェーンソー、ハーベスタ
集材 ハーベスタ(ウインチ使用)
(全木集材(作業道から直接))
造材 ハーベスタ
運材 フォワーダ

森林作業道 : 幅員 3.0m
延長 1,190m【171m/ha】

素材生産費 : 7,751円/m³
素材生産性 : 2.3m³/人・日

当面の目標
(H28)
8,000円/m³
をクリア

搬出間伐の素材生産費・生産性の推移(全国・佐賀県)



搬出間伐	素材生産費(円/m ³)		
	全国	佐賀県	木材生産モデル地区
H19	8,257	12,311	11,217
H20	8,609	10,644	10,719
H21	8,763	10,424	10,076
H22	8,979	11,372	8,445
H23	9,289	7,859	5,708
H24	9,086	8,064	7,625
H25	9,575	8,381	8,521
H26	—	—	7,751
H25/H19 (H26/H19)	116%	68%	69%
目標	16ポイント増加	32ポイント縮減	31ポイント縮減
目標	—	7,000 (H33)	—

搬出間伐	素材生産性(m ³ /人・日)		
	全国	佐賀県	木材生産モデル地区
H19	3.03	—	—
H20	3.45	—	1.55
H21	3.57	2.08	1.99
H22	3.57	2.30	1.91
H23	3.85	3.18	4.10
H24	3.85	3.90	2.71
H25	4.35	3.24	3.22
H26	—	—	2.28
H25/H19	144%	156%	147%
目標	44ポイント向上	56ポイント向上	47ポイント向上
目標	10.1 (H32)	3.6 (H33)	—

資料
林野庁素材生産費等調査(全国・佐賀県ともにスギ、県産木材利用推進プロジェクト低コスト木材生産モデル地区(スギ・ヒノキ混合)(H26は西吉田地区のみのデータ適用)
目標は、佐賀県「新しい佐賀の森林づくりビジョンVer.2」による。

資料
林野庁素材生産費等調査(全国はスギ、佐賀県はスギのほか一部ヒノキ含む)、県産木材利用推進プロジェクト低コスト木材生産モデル地区(スギ・ヒノキ混合)(H26は西吉田地区のみのデータ適用)
目標は、林野庁「林業構造の展望について(H23年3月)」、佐賀県「新しい佐賀の森林づくりビジョンVer.2」による。

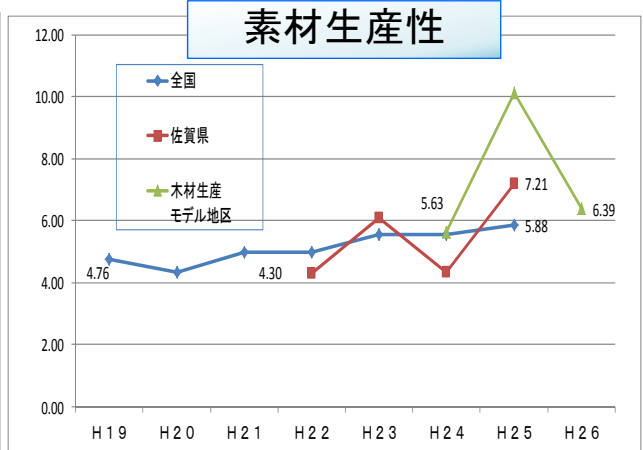
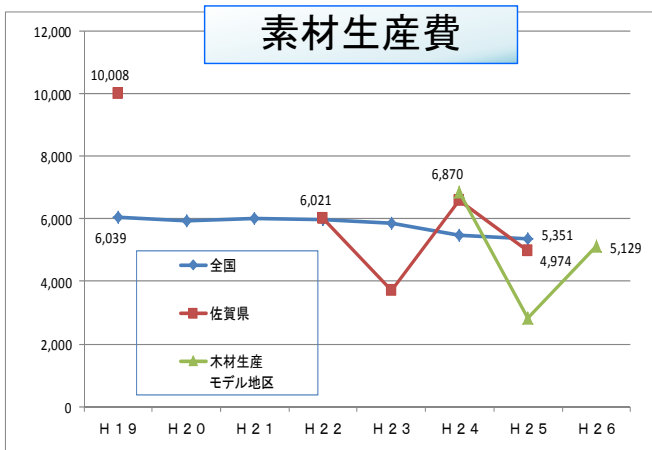
(1) - ② 皆伐モデル地区 藤川地区(唐津市)



藤川地区(唐津市七山)

施業面積 : 1.80ha
 樹種・林齢 : スギ(75年生)
 素材生産量 : 466m³ [259m³/ha]
 作業システム: 伐採 チェーンソー
 集材 スイングヤーダ
 造材 プロセッサ
 運搬 フォワーダ
 森林作業道 : 410m
 素材生産費 : 5,129円/m³
 (ユニック車経費除く、ユニック車経費は1,000円弱の見込み)
 素材生産性 : 6.39m³/人・日

主伐の素材生産費・生産性の推移(全国・佐賀県)



皆伐	素材生産費(円/m ³)		
	全国	佐賀県	木材生産モデル地区
H19	6,039	10,008	-
H20	5,956	-	-
H21	6,016	-	-
H22	5,980	6,021	-
H23	5,857	3,699	-
H24	5,488	6,594	6,870
H25	5,351	4,974	2,829
H26	-	-	5,129
H25/H19 (H26/H24)	89%	50%	75%
目標	11ポイント縮減	50ポイント縮減	25ポイント縮減

皆伐	素材生産性(m ³ /人・日)		
	全国	佐賀県	木材生産モデル地区
H19	4.76	-	-
H20	4.35	-	-
H21	5.00	-	-
H22	5.00	4.30	-
H23	5.56	6.09	-
H24	5.56	4.34	5.63
H25	5.88	7.21	10.11
H26	-	-	6.39
H25/H19 (H25/H22) (H26/H24)	124%	168%	113%
目標	24ポイント向上	68ポイント向上	13ポイント向上
目標	13.1(H32)	5.0(H33)	-

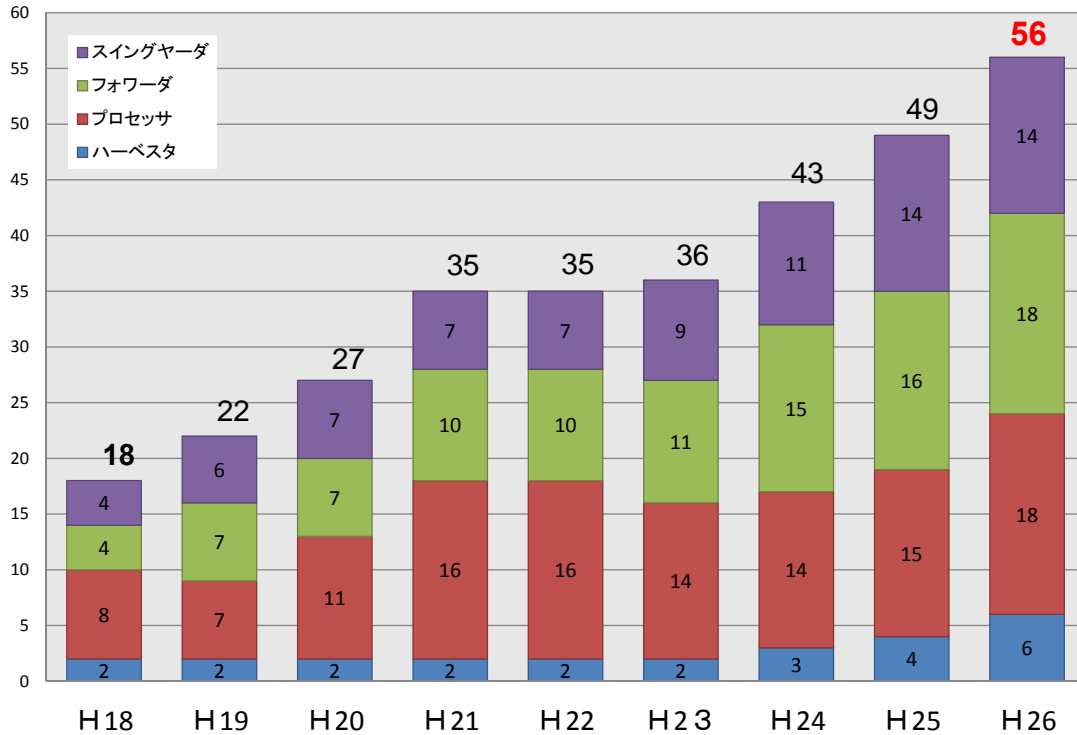
資料 林野庁素材生産費等調査(全国・佐賀県ともにスギ、県産木材利用推進プロジェクト低コスト木材生産モデル地区(スギ・ヒノキ混合) 目標は、佐賀県「新しい佐賀の森林づくりビジョンVer.2」による。

資料 林野庁素材生産費等調査(全国はスギ、佐賀県はスギのほか一部ヒノキ含む)、県産木材利用推進プロジェクト低コスト木材生産モデル地区(スギ・ヒノキ混合) 目標は、林野庁「林業構造の展望について(H23年3月)」、佐賀県「新しい佐賀の森林づくりビジョンVer.2」による。

参考

高性能林業機械の保有台数の推移(佐賀県)

H18の
3.1倍



H18年度に18台であったものが、H26年度には56台に増加(3.1倍)さらに、H27年度には6台導入見込み

高性能林業機械レンタル支援 (実施状況)

県産木材生産拡大高性能林業機械レンタル支援事業
(平成24年度～平成28年度)

平成27年4月

目的 レンタルの高性能林業機械の活用を推進し、林業事業体の利用間伐等による木材生産の効率化を図り、県産木材の生産を拡大する。

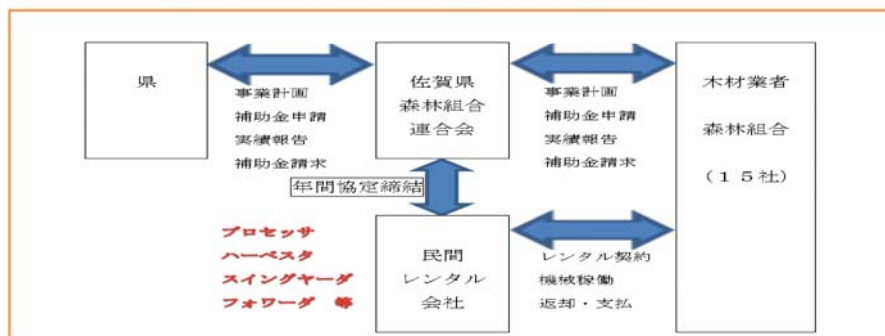
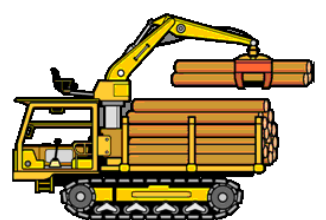
事業主体 佐賀県森林組合連合会

- 内容**
- ①佐賀県森林組合連合会が民間レンタル業者と協定を締結する。
 - ②その民間レンタル業者から高性能林業機械をレンタルする木材業者・森林組合に対し、佐賀県森林組合連合会が助成事業を実施する。
 - ③県は佐賀県森林組合連合会の助成事業に係る経費について、定額で助成を行う。

※ただし、助成対象となる木材業者・森林組合については、県内の認定事業体15社(木材業者7社、森林組合8組合)に限る。

補助率 定額(レンタル経費の4/10を上限とする。)

予算額
 H25実績: 3,695千円
 H26実績: 4,139千円
 H27計画: 10,000千円(当初予算)



参考

レンタル機械を活用した木材生産の拡大 (高性能林業機械レンタル支援事業関係)

H25実績			H26実績			H27計画		
林業機械	台数 (累計)	レンタル 月数	林業機械	台数 (累計)	レンタル 月数	林業機械	台数 (累計)	レンタル 月数
プロセッサ (造材用機械)	3	9.0	プロセッサ	2	3.0	プロセッサ	1	10.0
ハーベスタ (伐木造材用機械)	1	1.5	ハーベスタ	3	7.5	ハーベスタ	1	10.0
スイングヤード (集材用機械)	1	3.5	スイングヤード	1	3.5	フォワーダ	4	40.0
フォワーダー (運材用機械)	4	12.0	フォワーダー	5	10.0			
計	9	26.0	計	11	24.0	計	6	60.0
レンタル機械の活用実績 事業体数：5事業体 施業内容：搬出間伐 施業面積：47ha 搬出材積：1,630m ³ 施業場所：佐賀市・唐津市 伊万里市・武雄市 嬉野市			レンタル機械の活用実績 事業体数：6事業体 施業内容：搬出間伐 施業面積：92ha 搬出材積：3,753m ³ 施業場所：佐賀市・唐津市 伊万里市・有田町 武雄市・鹿島市			レンタル機械の活用計画 事業体数：6事業体（見込み） 施業内容：搬出間伐 施業面積：150ha（見込み） 搬出材積：7,500m ³ （見込み） 施業場所：佐賀市・唐津市 伊万里市・有田町 武雄市・鹿島市等		



(3) 提案型集約化施業等先進地事例研修会の開催

平成26年12月3日～4日(参加者26名) 広島県、島根県

① 有限会社安田林業 吉和事務所(広島県)



② 石央森林組合 (島根県)



平成26年度

専門部会

「低コスト推進部会」

の活動実績について



- 1 低コスト推進部会のメンバー構成
- 2 低コスト推進部会の開催状況
- 3 「木材生産性の向上のための手引き」
の作成

1 低コスト推進部会のメンバー構成

- 森林組合（メンバー 7名）
業務課長・係長等
- 民間林業事業体・森林組合（オブザーバー 4名）
代表取締役・専務・参事
- 県（メンバー 7名）
（農林事務所、林業課、森林整備課の普及担当等）

これらの機関・団体の関係者、合計18名で構成

2 低コスト推進部会の開催状況

- ・高性能林業機械を活用した作業システムの推進になどについて検討するため「低コスト推進部会」を開催しました。

- ・第1回（10月29日）
木材市況・需給状況現地調査（佐賀県森林組合連合会木材共販所）
搬出間伐の現地検証（佐賀中部森林組合）
- ・第2回（12月17日）
低コスト木材生産モデル団地の現地検証（鹿島嬉野森林組合）
木材生産性の向上のための手引きの検討など



17

「現地検証」の実施状況



作業システムの現地検証



森林作業道の検証



現地確認 など



課題などを現地で検証

課題

○作業の効率化に加えて、地域森林の将来像を見据えながら、持続可能な森林経営の実現に向けて、より適切な選木、路網整備、間伐作業、安全性に十分配慮した林業機械の操作等、**さらに丁寧な現場作業が実践できる人材を育成確保していくことが課題。**

平成27年度から

- ・林業技術者育成セミナーの開催
→現場技能者の資質、技能の向上

18

3 「木材生産性の向上のための手引き」の検討

木材生産性の向上のための手引き Ver.1

平成27年3月

県産木材利用推進プロジェクト会議
木材生産拡大チーム・低コスト推進部会
(佐賀県生産振興部林業課・林業試験場・農林事務所)

1

平成19年度から実施してきた低コスト木材生産モデル団地におけるデータ分析や作業システムの現地検証等、これまでの木材生産拡大に向けた取組を「**木材生産性の向上のための手引きVer.1**」として、とりまとめるため内容の検討を行いました。



2 木材生産の現状と目標

- 県産木材(スギ・ヒノキ丸太)の生産量は、H25年で130千㎡であり、そのうち間伐材が35千㎡となっています。
- 森林産率が徐々に成熟している中、県産木材の生産量を増加させ、自給率を高めていく必要があり、新しい佐賀の森林づくりビジョンVer.2 (H23変更)では、H33(10年後)に変更当時の約2倍に当たる210千㎡を目標としており、そのうち80千㎡を間伐材で供給することとしています。

県産木材(丸太)生産量の現状と目標

(単位:千㎡)

年次	間伐材の生産量
H22	21
現状(H25)	35
目標(H28)	50
目標(H33)	80

4

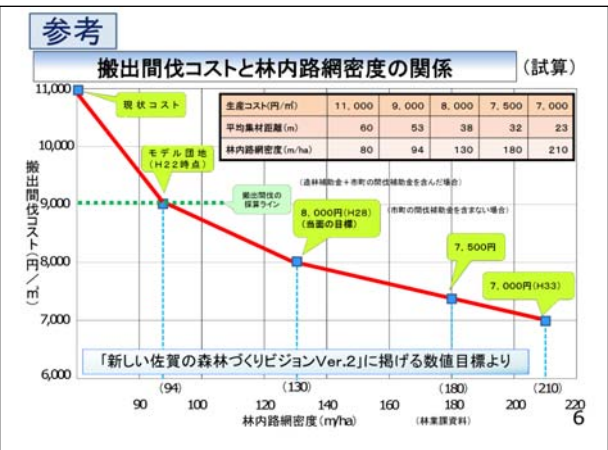
3 低コスト木材生産の必要性

- 木材は、国際商品として鉄や石油と同様に世界的な規模で流通しており、木材の価格形成においても海外との競争から免れることはできない状況です。
- このような中において、林業が「儲かる」産業へと再生していくためには、育林過程の間伐において、森林所有者の収益確保を図る必要があります。
- 具体的には、平成19年当時は間伐材の生産等コストが12,300円/㎡程度かかっており、造林補助金(4,900円/㎡)を含めても収支は見込めず、大半が切捨て間伐を実施していました。
- 今後は、森林・林業への関心を高めるためにも、更に森林所有者へ収益を還元していくことが必要であり、素材生産コストを平成19年比の6割となる7,000円/㎡まで圧縮していきたいと考えています。

間伐収支の現状と目標(イメージ)

項目	現状(H19)	目標(H33)
【間伐の前経費(条件)】	○ 労務 1.5ha	○ 労務 1.5ha
○ 燃料 1.5ha	○ 燃料 1.5ha	○ 燃料 1.5ha
○ 搬出経費 50円/ha	○ 搬出経費 50円/ha	○ 搬出経費 50円/ha
【収入】	【支出】	【収入】
【収入】 計1,100円	【支出】 計1,200円	【収入】 計1,200円
【支出】 計1,200円	【収入】 計1,200円	【支出】 計1,200円
造林補助金 (4,900円)	造林補助金 (4,900円)	造林補助金 (4,900円)
木材販売額 (11,200円)	木材販売額 (11,200円)	木材販売額 (11,200円)
素材生産費 (12,300円)	素材生産費 (7,000円)	素材生産費 (7,000円)

5



低コスト化につながる取組等を紹介します

- 木材生産の低コスト化と一言でいっても、具体的に何にどう取り組めば良いのか、戸惑いを感じることも多いかと思うます。
- 低コスト化の「ツボ」がどこにあるのか、的確に把握することは、その作業が多様・多岐にあるだけに、容易なことではありません。
- 幸いなこと、県では、平成19年度から木材の生産拡大と需要拡大を目指して、「県産木材利用推進プロジェクト」に取り組んでおり、林業・木材産業に関わる事業者や行政関係者等で構成する「木材生産拡大チーム」において、搬出間伐の低コスト化に向けた様々な取組を展開するとともに、各種データを蓄積してきました。
- ここに、これまでの約8年間の取組を振り返りながら、その成果として、今回、「木材生産向上のための手引き」としてとりまとめを行い、これからの「搬出間伐の低コスト化」のヒントを示すものです。

7

8 木材生産コストの考え方

費用とは

○ 木材生産にかかる様々な経費を費用といい、費用とは、変動費と固定費からなります。

【変動費】

○ 変動費とは、売上高によって、比例的に増減する費用のことです。例えば、木材の運搬や販売を、運送業者等に委託する場合は、搬出された木材に比例して運搬経費と販売経費が発生します。
○ このほか、高性能林業機械等の機械回送費、機械の燃料代、作業道作設で使用した資材費や、所有者送却金も変動費に含まれます。

変動費：機械経費、機械回送費、資材費、木材運搬経費、木材販売経費（市場手数料等）、所有者送却金など

【固定費】

○ 固定費とは、売上高等の増減に関係なく、一定に発生する費用です。人件費や機械損料、間接事業費などが固定費になります。

固定費：人件費、機械損料、間接事業費（プランナー経費、一般管理費）など
プランナー経費（計画立案・調整・指導・関係調整など）や設備投資費（森林作業道の建設）によるプランナー一人あたり経費（設備投資費）
一般管理費（森林組合の組合事務経費等）の費用として発生する経費（雑費、手数料）



16

2 年間総事業費の算出

費用の項目	費用 (千円)	備考
現場作業員総人件費	16,000	人工数4名×200日×20,000円/人・日(社会保険料含む)
チェンソー 経費 【伐木】	減価償却費 80 維持修理費 120 燃料費 240 小計 680	購入価格120千円×2台/償却年数3年 購入価格120千円×2台×維持修理費率150%/償却年数3年 オイル30ℓ/日×300円/ℓ×400日(200日×2人)
プロセッサ 経費 【造材】	減価償却費 1,360 維持修理費 1,020 燃料費 1,248 小計 3,722	購入価格1,000千円×0.4(固定費+高15%補助の場合)/償却年数5年 購入価格17,000千円×維持修理費率30%/償却年数5年 軽油60ℓ/日×130円/ℓ×160日 オイル3ℓ/日×300円/ℓ×160日
フォワーダ 経費 【運材】	減価償却費 720 維持修理費 1,260 燃料費 624 小計 2,604	購入価格9,000千円×0.4(固定費+高15%補助の場合)/償却年数5年 購入価格9,000千円×維持修理費率70%/償却年数5年 軽油30ℓ/日×130円/ℓ×160日
直接事業費	23,056	
間接事業費	9,222	直接事業費×40%
年間総事業費	32,278	直接事業費+間接事業費

3 年間必要事業量の算出

年間必要事業量	2,934m ³ /年	年間総事業費32,278千円/事業単価11千円
日当たり必要事業量	14.7m ³ /日	年間必要事業量2,934m ³ /年間作業日数200日
必要木材生産性	3.7m ³ /人日	年間必要事業量2,934m ³ /年間総人工数800人

※資料：森林総合監理士(フォレスター)基本テキスト(平成26年度版)を改編

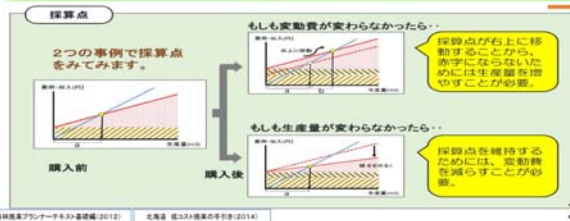
22

アイデア

○ 利益率を上げるためには、費用(コスト)を下げるか収入を増やすか、大きく2つの方向性があります。
○ 例えば、コストの低減としては、新しい機械を購入して生産性を上げるという方法は、コストは増えるもののそれ以上に収入を増やすという戦略です。
○ ほかにも、機械を2班で共有し、稼働率を向上させることで、機械経費の縮減につながります。

○ 収入の増加としては、木材の有利販売を強化するという方法は、協定取引等で全体的な販売価格を引き上げて収入自体を増やすという戦略です。
○ ほかにも、木材の生産性(m³/人日)を向上させることで、木材生産量を増加させることが可能となります。

○ 戦略のアイデアは、プランナー(業務職員)だけでなく、現場技術者(作業班員)も集まって議論することにより、視野を広げることができるとでしょう。

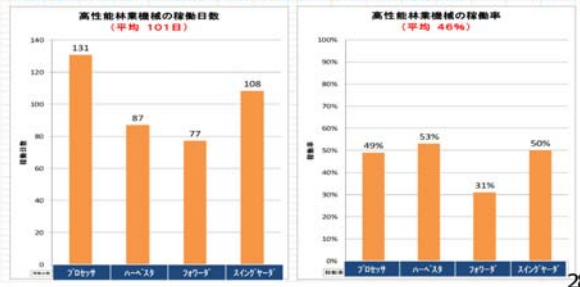


26

機械稼働率

○ 高性能林業機械の稼働状況は？
◆ 県内の高性能林業機械の年間稼働率は、プロセッサ49%、ハーベスタ53%、フォワーダ31%、スイングヤーダ60%となっており、稼働率が8割を超える林業事業者が存在する一方、稼働率が低位な林業事業者もあります。
◆ 地域の森林を計画的に集約化し、施業地の確保を進めるとともに、人材の育成や機械の導入等により、木材生産性を高め、年間必要事業量を超える木材生産の確実な実行が求められます。

高性能林業機械 年間稼働日数・稼働率 (平成25年度実績)



28

平成26年度

木材需要拡大の活動実績について

- 1 木材需要拡大チームのメンバー構成
- 2 木材需要拡大チームの会議開催状況
- 3 木材需要拡大の活動状況



23

1 木材需給拡大チームのメンバー構成

(座長)佐賀県木材協会 事務局長

○佐賀県優良住宅建設事業者協議会

○(社)佐賀県建築士会

○諸富家具振興協同組合

○特定非営利活動法人「調和の森」

○佐賀県木材協会

○市町代表(佐賀市)

○県関係(建築住宅課、学校教育課、林業試験場、
各農林事務所、林業課)

これらの機関・団体の関係者、合計23名で構成

24

2 木材需要拡大チームの会議開催状況

・ 県産木材の需要拡大対策として、ホームページ等を活用したPR、佐賀県産木材地産地消の応援団の活動の推進、「佐賀県公共建築物木材利用促進方針」等による木造化の普及啓発、などについて検討しました。

- ・ 第1回（5月13日）：チーム合同会議、活動実績と活動計画について
- ・ 第2回（10月24日）：活動計画に基づく県産木材の広報・PR活動、県産乾燥木材の生産支援など
- ・ 第3回（3月24日）：木材の需要拡大に向けた現地研修会の開催
「中国木材株式会社（伊万里市山代町）」



25

3 木材需給拡大の活動状況

- 1 県産木材の販路拡大の取組（広報・PR活動）
- 2 「佐賀県産木材」地産地消の応援団の活動の推進
- 3 公共建築物の設計者（建築士、行政の建築担当者等）を対象とした木材利用技術セミナーの開催
- 4 県産乾燥木材（AD・KD材）の生産に対する支援と品質等の検討
- 5 木とふれあうイベント「よかウッドフェスタ」の開催

1 県産木材の販路拡大の取組（広報・P R活動）

○ ホームページ「よかウッド」を活用し、森林・林業に関するイベント情報や木材利用啓発に関する記事の掲載を行いました。

年度	アクセス数(件)
H19	47,279
H20	83,599
H21	75,000
H22	96,493
H23	85,656
H24	96,272
H25	110,312
H26	99,625

※H26：H26.4.1～H27.3.31まで

掲載記事の一例

富士町に佐賀市木材供給センターが開設されました

富士大和森林組合は、佐賀市富士町の栗並地区に佐賀市木材供給センターを開設されました。センターには、丸太の選木機(原木検寸選別装置)と皮剥ぎ機(リングバーカー)が整備され、6月9日(月)から稼働を始めています。現在5名の職員が業務に携わられており、初年度は、丸太約1万2千m3を取り扱う計画となっています。

選木機は、3Dスキャナーで丸太の径級や曲り具合などを計測し、所定のポケットに丸太を選別していきます。皮剥ぎ機は、長さ2-6m、直径6-47cmまでの丸太の樹皮を剥く機能を備えています。

今後、センターでは、佐賀県森林組合連合会と業務提携し、敷地内において丸太の市売り販売も計画されており、丸太の生産現場に近い山元へ流通・加工の拠点が整備されたことにより、これまで以上に森林資源の循環利用が進み、県内の林業の活性化や森林の保全につながるものと期待されます。

県林業課 林産振興担当 下田



富士町の栗並地区に開設された木材供給センター



選木機(原木検寸選別装置)と選別・積積された丸太

○ 森林、林業、木材等に関するイベントでのP R活動を行いました。



諸富家具市9月13～15日



がばいじゃ～もくまつり10月19日



「ばぶばぶフェスタ」10月26日



「佐賀県農業まつり」2月8日

- ・ 諸富家具市 (9月13～15日)
 - ・ がばいじゃ～もくまつり(10月19日)
 - ・ ばぶばぶフェスタ (10月26日)
 - ・ 佐賀県農業まつり (2月8日)
- その他、市町主催イベントにパネル等の貸出を行った。

参考 輸出への取り組み（F S N連携）

- ・平成26年9月、九州北部3県（福岡、佐賀、長崎）が連携することにより、木材輸出や大型工場、木質バイオマス発電施設への大ロット出荷や安定供給の可能性などを研究する「F S N原木出荷連携に向けた研究会」を立ち上げ、輸出の可能性や課題を整理することとしている。
- ・平成27年4月に、長崎県と佐賀県が連携し、中国へ丸太を試行的に輸出している。



平成27年2月、県産木材を伊万里港へ運搬(42.1m3)



中国行きバルク船(2,000m3積載)

参考 輸出への取り組み（F S N連携）

<伊万里>

<韓国・中国>



輸出

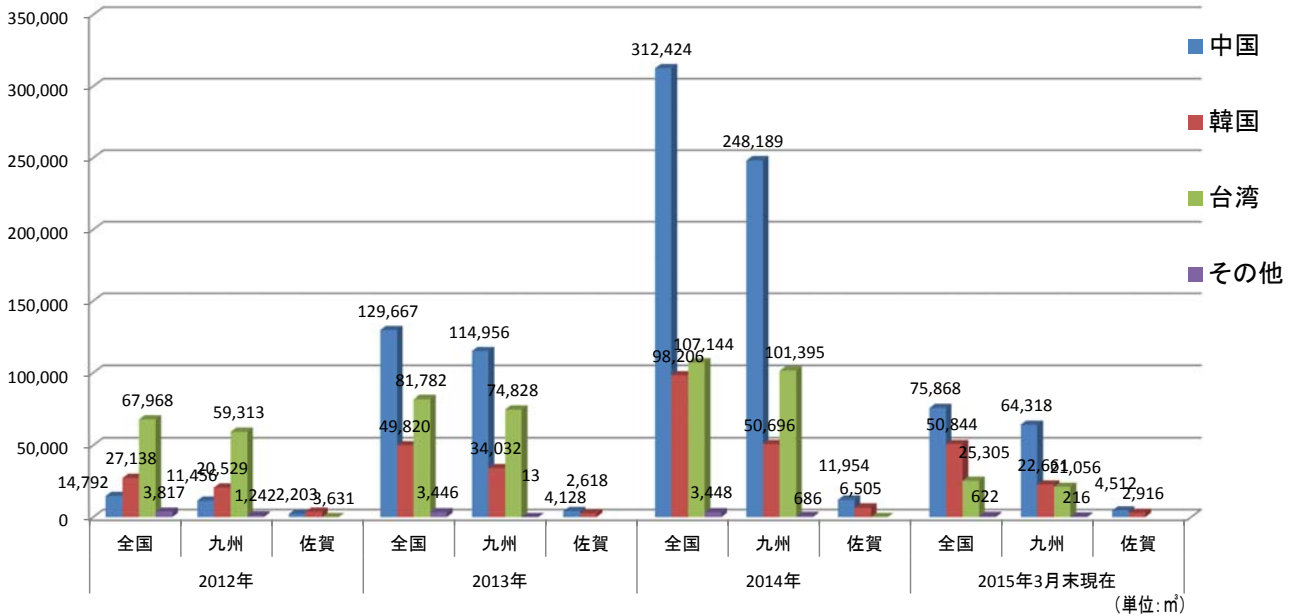
<需要の中心>

- 高品質住宅（木造）・家具用材
- 高層住宅向けの内装材

等



丸太輸出の推移



	2012年			2013年			2014年			2015年3月末現在		
	全国	九州	佐賀	全国	九州	佐賀	全国	九州	佐賀	全国	九州	佐賀
中国	14,792	11,456	2,203	129,667	114,956	4,128	312,424	248,189	11,954	75,868	64,318	4,512
韓国	27,138	20,529	3,631	49,820	34,032	2,618	98,206	50,696	6,505	50,844	22,661	2,916
台湾	67,968	59,313	29	81,782	74,828	0	107,144	101,395	71	25,305	21,056	0
その他	3,817	1,242	0	3,446	13	0	3,448	686	0	622	216	0
全体	113,715	92,540	5,863	264,715	223,829	6,746	521,222	400,966	18,530	152,639	108,251	7,428

2 「佐賀県産木材」地産地消の応援団の活動の推進

- 県産木材を積極的に利用・PRする企業・団体等を応援団として登録するとともに、県産木材利用PRを兼ねた住宅展示会等の開催支援を行いました。

<H26年度登録者数>

- 製材工場 : 11件
- 大工・工務店 : 23件
- 設計事務所 : 5件
- 家具・建具 : 1件
- 丸太生産者 : 1件
- 企業・団体等 : 4件
- 計 : 45件



県産木材の家づくり

佐賀の木材で、佐賀に家を建てよう!

■佐賀産で育った木材を有効に活用すれば…■
 ○他の地域の木材の産地を生産を助えることができます。
 ○石炭などの資源の無駄づかいが防げます。
 ○課題によって排出される二酸化炭素が削減されます。

わしたちは、愛用する木材が「L2Cの認定」をもち「L2C」に加工された木材のみについて、もっと愛用を促すことが出来るようになりました。

佐賀県産の木材にこだわる理由は?

■佐賀の木を使うことが佐賀の山を守るのです!

佐賀の森林は、約7割にスギやヒノキが植林されています。人の手で下刈りや間伐を行いながら、木を伐って使い、また植えるという繰り返しの作業を怠らなければ森林がもっている機能が低下し、山の表土が流出したり環境破壊を招くことになります。県産木材を利用することは、私たちの環境を守ることに繋がります。

■木造住宅は第二の森林なのです!

「木材」は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を大気中から吸収して、自體に炭素を貯蔵します。このため、伐採後も炭素を貯蔵し続ける木材を使った木造住宅は森林を増やしたのと同じ効果があるため「第二の森林」とも言われ、地球温暖化防止に役立っているのです。

■地産地消は地域の活性化につながります!

地域の人の手で森林の維持・育成、木材生産、木材加工、さらに木造住宅の建築を行い、県産木材を地元で消費することにより、木材を中心とした産業活動が活発となり、地域の活性化につながります。


- ・ 地産地消の応援団PR支援事業を活用した企業 : 17社
 ※県産木材利用PRを兼ねた住宅展示会の開催経費等に定額支援(最大173,000円)
- ・ 推進支援として、のぼり旗やPRパネルの貸出やパンフレット、チラシ、PRグッズの提供を行った。

3 公共建築物の設計者(建築士、行政の建築担当者等)を対象とした木材利用技術セミナーの開催

- ・平成27年2月4日(水曜日)にホテルニューオータニ佐賀で「公共建築物木材利用技術セミナー」を開催した。
- ・建築士、木材・製材業、行政関係者など、101名の参加。


講演Ⅰ(13:35 ~ 15:00)
 演題「地域の森林資源から考える木材利用」
 (有)ウッズ 代表取締役 能口 秀一

(講演要旨)
 建築工事は木材調達発注が工事業者決定後となるため、納期に余裕がなくなる。工事発注に先立って地域産木材を先行発注(分離発注)する仕組みがあるとよい。
 木材を調達するには、調達森林を確定して計画を進めると、十分な期間が確保できるため品質の安定とコストダウンにつながる。
 また、素材を活かす製材工程の重要性について、木材の価値を高める利用により、地域森林資源の価値を高めることができる。
 地域の森林価値の最大化は建築士の皆さんにかかっている。



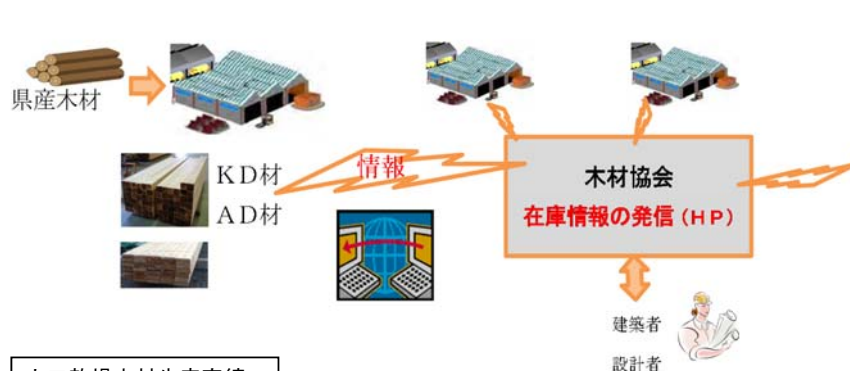
講演Ⅱ(15:15 ~ 16:45)
 演題「木材には欠点がある。伝統構法は欠点を受け入れた工法である。」
 すまい塾古川設計室(有) 代表取締役 古川 保

(講演要旨)
 設計の前に木材を知ることが大事である。
 設計者は安易に工事標準仕様書に準じると書く。
 地域に流通していないような仕様になるため、木材を入手しづらくなるため、仕様書の記載内容にも気を配ってもらいたい。
 そうすることで、地元の木材を使いやすくなり、山も良くなっていく。
 将来のことを考えて応援してもらいたい。



4 県産乾燥木材(KD・AD材)の生産に対する支援と品質等の検討 [KD:人工乾燥木材、AD:天然乾燥木材]

- ・消費者が求める「性能の安定した乾燥木材」を安定的に提供できるよう、佐賀県木材協会が中心となり、生産量の取りまとめや在庫状況の情報発信に取り組んでいる。
- ・林業試験場において、「人工乾燥と天然乾燥を組み合わせた木材乾燥試験」をH23~H27で行い、品質の検証試験を行っています。



人工乾燥木材生産実績

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
生産量	140	428	171	207	682	203	114	103

天然乾燥木材生産実績

年度	H24	H25	H26(実績)
生産量	1,022	2,800	2,820



佐賀県木材協会のHPに、新しく「県産木材在庫情報検索システム」が追加されています。皆さん、活用してください。

参考「さかの木」の生産について

- 平成15年度から、「さかの木」生産に取り組んでいたが、近年の住宅事情の変化等により、一時生産を中止していた。
- その一方、「佐賀の木・家・まちづくり協議会」では、「佐賀の風土に合った特色ある家づくりには、「さかの木」が必要である。」という意見がでた。
- 「佐賀の木・家・まちづくり協議会」は、自ら「さかの木」を使用した家づくりを実践していくことが、最大のPR効果を生むということで、昨年度から協議会の事業に「佐賀県木造塾」に取り組む事とした。
- この「佐賀県木造塾」は、設計、建築に携わる者、及び今後木造住宅の建築を予定している者を対象とした研修会である。
- 「佐賀県木造塾」は、昨年度、4回の研修会を開催。
 - 第1回 「スローな家づくりのための基礎知識」(座学)
 - 第2回 「さかの木の生産現場見学会」(見学会)
 - 第3回 「製材所見学及び完成物件の構造見学」(見学会)
 - 第4回 「佐賀県産材の唐津市に於ける生産と流通を知る」(座学)
- 林業課としても、「佐賀の木・家・まちづくり協議会」とタイアップし、さかの木・県産木材使用の木造住宅の普及のため、葉枯らし材の生産を継続していく予定である。

さかの木生産実績	
年度	生産量 (材積m ³)
H15	100
H16	1, 146
H17	1, 233
H18	1, 343
H19	1, 511
H20	1, 120
H21	657
H22	420
H23	0
H24	0
H25	644
H26	756
計	8, 930

「佐賀県木造塾」の平成26年度の開催状況



第1回佐賀県木造塾 10月19日



第2回佐賀県木造塾 11月16日



第3回佐賀県木造塾 H27.1.18日



第4回佐賀県木造塾 H27.2.15日

5 木とふれあうイベント「よかウッドフェスタ」の開催

- ・平成26年11月1日(土)に、どん3の森広場、アバンセ第2研修室で「よかウッドフェスタ」を開催しました。(平成27年度は平成27年11月1日(日)に同会場で開催予定)今回も、木とふれあう体験コーナーと併せて、木工工作コンクール表彰式、県下工業高校設計競技表彰式などや、佐賀県建設労働組合連合会による、住宅棟上げ実演・もち投げなども同時開催した。
- ・当日は、約1,000人の参加者がありました。



平成26年度

専門部会

「多角的利用部会」



の活動実績について

- 1 多角的利用部会のメンバー構成
- 2 多角的利用部会の開催状況
- 3 木材の需要拡大に向けた現地研修会

1 多角的利用部会のメンバー構成

- 佐賀県森林組合連合会
- 佐賀県木材協会
- 中国木材株式会社
- 株式会社伊万里木材市場
- 富士大和森林組合
- 西工業
- 西部木材工業
- 中山リサイクル産業株式会社
- 佐賀県農業協同組合
- 県関係（佐賀県工業技術センター、林業試験場、林業課、各農林事務所）

これらの機関・団体の関係者、合計17名で構成

2 多角的利用部会の開催状況

木材の有効利用を図るため、多様な需要に向けた取組や新たな用途について検討・研究を目的とした「多角的利用部会・現地研修会」を開催

第1回会議開催日：平成26年10月24日

**内容：「多角的利用部会の進め方」について
「先進地視察」について**

第2回会議開催日：平成27年3月24日

**内容：「木材の需要拡大に向けた現地研修会」
研修先：中国木材株式会社（伊万里市山代町）**



県内に拡大する木材需要



地域別、需要別の収支を明らかにする

①生産コスト

- ・現在、木材生産拡大チームが森林組合から情報収集しているコストデータを参照する。
→林産振興担当で収集
- ・これに加えて、県内認定事業体に協力を仰ぎデータ数を増やすこととしたい。
→各農林事務所で収集

②輸送コスト

- ・生産現場から、木材市場、輸出港までのコストデータを収集する。
→林産振興担当で収集

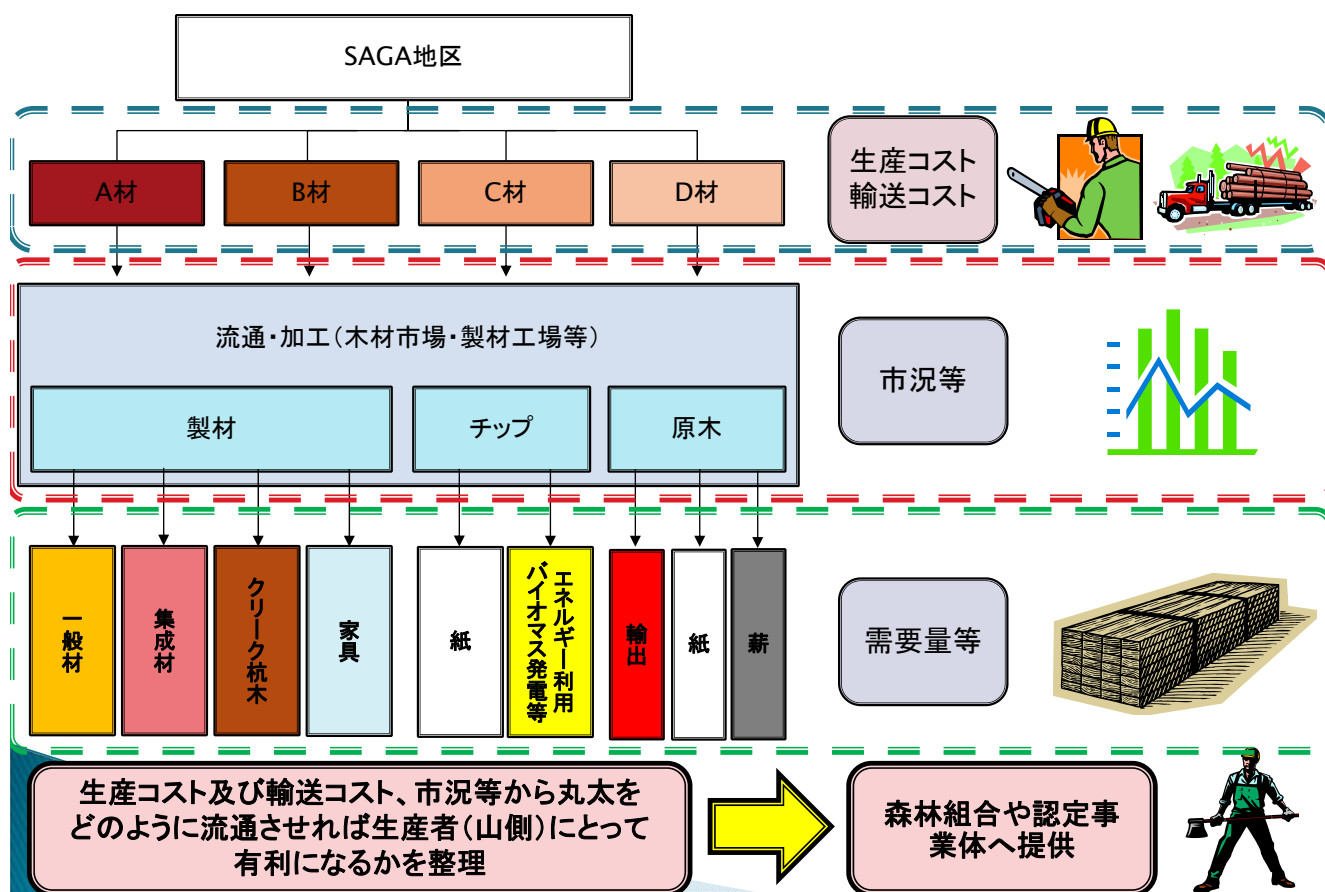
③市況等

- ・過去の木材市況データを規格(用途)別に整理する。
- ・市場ごとの手数料、極積み料を整理する。
→林産振興担当で収集

④需要等

- ・県内にどのような需要があるのか(種類)、どれだけの量があるのか、買取価格はどのくらいかなどの情報を収集する。
→多角的利用部会のメンバーの協力を得ながら林産振興担当で収集
- ・輸出の需要がどれだけの量があるのか、買取価格はどのくらいかなどの情報を収集する。
→林産振興担当で収集

地域別・需要別の収支イメージ



①平成25年度 生産コスト調査分析(県内10地区)

団地概要(施業概要)及び支出状況

市	施工面積 (A)	素材生産量 A~B材 (B)	ha当たり搬出量 (C)	調査運木費 (H)	伐木造材費 (I)	作業路開設費 (K)	受託手数料 (L)	トラック運材費 (M①) 試算用(AB)	その他 (O)	支出計 (Q)=(H)+(I)+(K)+ (L)+(M①)+(O)	m3当たり生産経費 (R)=(Q)÷(B)
佐賀	6.97ha	281m3	47m3	¥104,033	¥2,546,660	¥1,042,660	¥46,533	¥505,800	¥165,000	¥4,410,687	¥15,696
多久	1.4ha	95m3	68m3	¥0	¥1,223,505	¥649,802	¥0	¥142,500	¥0	¥2,015,807	¥21,219
小城	1.7ha	112m3	66m3	¥0	¥1,099,023	¥549,564	¥0	¥168,000	¥0	¥1,816,587	¥16,220
神埼	1.26ha	54m3	43m3	¥0	¥491,357	¥321,158	¥0	¥97,200	¥0	¥909,715	¥16,847
唐津	2.45ha	141m3	58m3	¥0	¥1,068,088	¥419,256	¥0	¥267,140	¥420,004.40	¥2,174,489	¥15,466
武雄	21.52ha	771m3	36m3	¥251,526	¥10,745,650	¥6,343,479	¥543,550	¥1,463,950	¥199,638	¥19,547,792	¥25,370
伊万里	9.36ha	126m3	14m3	¥281,680	¥1,966,213	¥1,533,039	¥497,628	¥227,627	¥389,310	¥4,895,495	¥38,712
鹿島	5.97ha	216m3	36m3	¥33,113	¥1,837,394	¥1,823,339	¥391,370	¥409,450	¥131,830	¥4,626,495	¥21,469
嬉野	9.01ha	323m3	39m3	¥105,925	¥2,521,750	¥2,707,057	¥601,832	¥612,750	¥152,280	¥6,701,594	¥20,780
太良	14.06ha	370m3	26m3	¥437,802	¥4,350,490	¥372,145	¥120,385	¥814,000	¥0	¥6,094,822	¥16,472

収入状況

市	施工面積 (A)	素材生産量 A~B材 (B)	ha当たり搬出量 (C)	素材販売収入 (S)	造林補助金 (T)	機械リース補助金 (U)	市町補助金 (作業道補助) (V)	その他収入 (W)	収入計 (X)=(S)+(T)+(U)+(V)+(W)	収支合計 (還元金) (Y)=(Q)-(X)	収支合計 (還元金/ha) (Y)÷(B)
佐賀	6.97ha	281m3	47m3	¥3,704,424	¥2,840,290	¥0	¥495,737	¥0	¥7,040,451	¥2,629,764	¥377,298
多久	1.4ha	95m3	68m3	¥743,169	¥1,415,860	¥0	¥203,560	¥0	¥2,362,589	¥346,782	¥247,701
小城	1.7ha	112m3	66m3	¥980,152	¥1,219,070	¥0	¥181,050	¥0	¥2,380,272	¥563,685	¥331,579
神埼	1.26ha	54m3	43m3	¥349,349	¥670,184	¥0	¥0	¥0	¥1,019,533	¥109,818	¥87,157
唐津	2.45ha	141m3	58m3	¥1,315,042	¥1,464,061	¥0	¥0	¥0	¥2,779,103	¥604,614	¥247,185
武雄	21.52ha	771m3	36m3	¥6,532,650	¥13,911,160	¥381,500	¥963,353	¥0	¥21,788,662	¥2,240,871	¥104,130
伊万里	9.36ha	126m3	14m3	¥1,694,852	¥3,844,851	¥0	¥310,008	¥584,470	¥6,434,181	¥1,538,685	¥164,477
鹿島	5.97ha	216m3	36m3	¥2,301,842	¥3,402,083	¥0	¥258,600	¥0	¥5,962,525	¥1,336,030	¥223,978
嬉野	9.01ha	323m3	39m3	¥2,858,793	¥5,080,151	¥0	¥0	¥0	¥7,938,944	¥1,237,351	¥137,331
太良	14.06ha	370m3	26m3	¥5,457,844	¥4,055,795	¥0	¥484,600	¥0	¥9,998,239	¥3,903,418	¥277,724

②輸送コスト

・生産現場から、木材市場、輸出港までの距離表

■条件

樹種	すぎ・ひのき素材丸太(一般材・バイオ材)
長級	3.0m~6.0m
単価	円/m3当たり
運搬区間	佐賀県地区一円 ~ 伊万里木材市場



■単価

運搬距離	種別	単価	備考
10km未満 (平均運搬距離)	7t車	1,500	山土場直接積込み
	10t車		
	30t車(トレーラー)		
20km未満 (平均運搬距離)	7t車	1,800	山土場直接積込み
	10t車		
	30t車(トレーラー)		
40km未満 (平均運搬距離)	7t車	1,900	山土場直接積込み
	10t車		
	30t車(トレーラー)		
60km未満 (平均運搬距離)	7t車	2,200	山土場直接積込み
	10t車		
	30t車(トレーラー)		

③-1市況等

<木材市況データ> 規格(用途)別一覧

項目	樹種	長さ(m)	径級(cm)	属性	森林組合連合会	㈱伊万里木材市場	(協)唐津木材市場	備考
					単価 (㎡当たり)	単価 (㎡当たり)	単価 (㎡当たり)	
一般用材	杉	3~4	14cm上	直(A材)	12,000	12,000	11,000	平均単価
				小曲(B材)	9,000	11,000	10,000	〃
	桧	3~4	14cm上	直(A材)	17,000	15,000	13,000	〃
				小曲(B材)	14,000	15,000	12,000	〃
クリーク用杭木	杉・桧	4	11~13cm	直(A材)・ 小曲(B材)	12,500	12,500	12,500	
海外輸出用	杉・桧	3~4	10cm上	曲(C材)	7,000			中国向け
	桧	2.5	14cm上	直(A材)	14,000			韓国向け
		2.5	16cm上	小曲(B材)	14,000			〃
木質バイオマス用	杉・桧	長さ問わず	径級問わず	大曲(D材)・ 傷・腐れ等	4,500	6,000	5,000	
合板用	杉	3~4	18cm上	大曲(C材)		7,000		
ラミナ用	桧	3~4	18cm上	中曲(B材)		11,000		



③-2市況等

<木材市況データ> 市場ごとの手数料、はい積料

市場名	販売手数料	はい積料	備考
佐賀県森林組合連合会	7%	一律(径級問わず) 1,000円	
佐賀市木材供給センター	7%	一律(径級問わず) 1,000円	
佐賀木材(株)	6%	8~13cm 1,800円 14~22cm 1,300円 24cm~ 1,000円	
(協)唐津木材市場	7%	一律(径級問わず) 1,200円	
(株)伊万里木材市場	8%	~14cm 1,500円 16cm~ 1,000円	



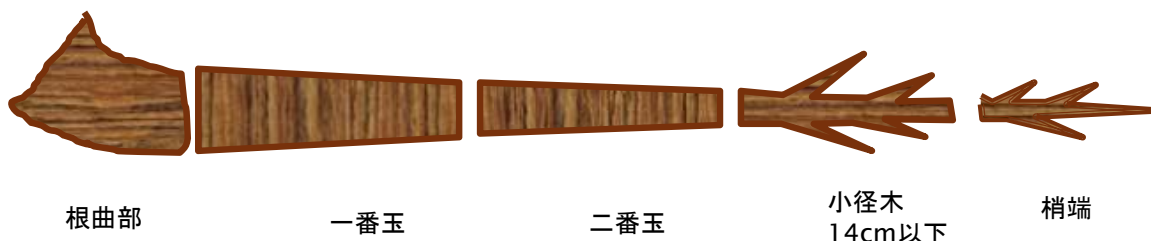
木材の品質

木材を品質(主に曲がりなどの形状)によって分類する。

C材 チップ用
D材 燃料用

A材 (直材)建築製材用
B材 (小曲り)合板用 ※小径木は土木用資材
C材 (大曲り)チップ用

C材 チップ用
D材 燃料用

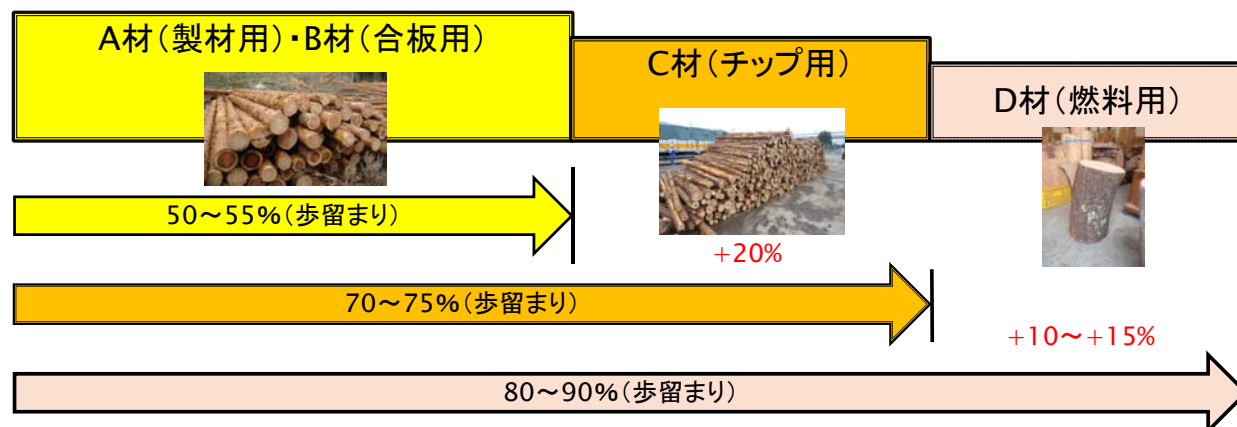


- ・A材は通直で曲がりが少ない製材向けの材
- ・B材は小曲材等の集成材や合板向けの材
- ・C材は大曲材・短尺材等のチップや木質ボード向けの材
- ・D材は従来殆ど搬出されていなかった小径木・根元部・梢端部等の燃料向けの材



歩留まりと搬出(参考:林野庁資料)

採材と歩留まりの関係は以下のとおり



- ・A材～D材まで搬出すると歩留まりが向上する。
(今回の試算は、A・B材50%、C材20%、D材10%として積算)
- ・搬出して量を取りまとめることで、C材やD材の販売にも有利となる。

[参考]

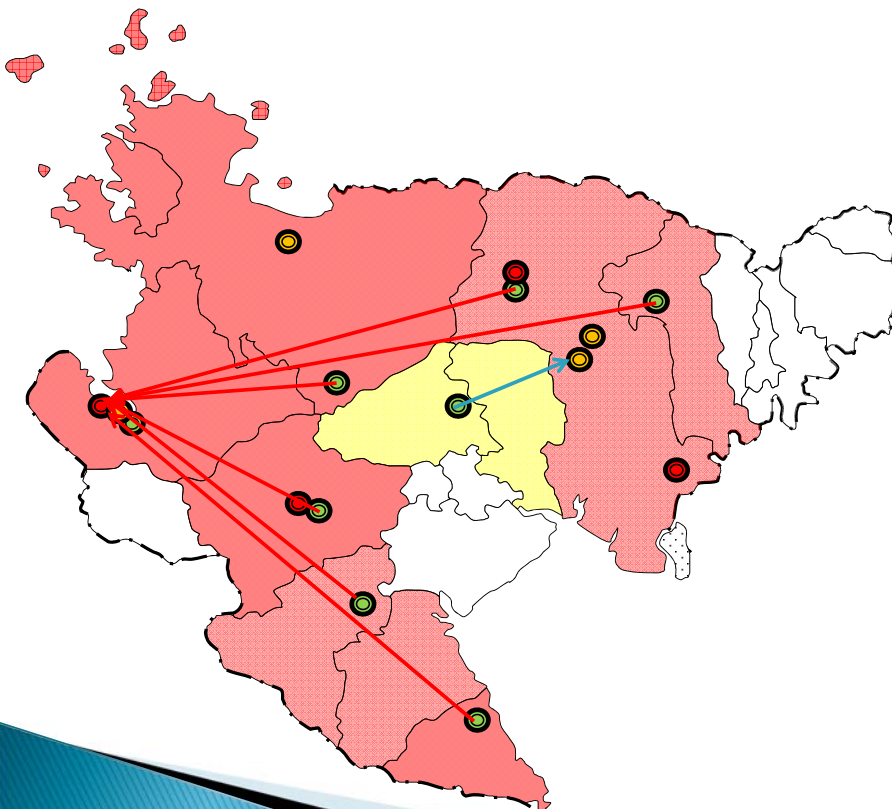
平成23年度県産木材利用推進プロジェクト事業
県産木材生産性・流通等調査結果に基づくと
A・B材の利用率(出荷量÷間伐材積)50%
C・D材の利用率(出荷量÷間伐材積)6%

出材先比較表(C材編)

単位:m3当たりの価格

市町名	出材先	買取価格	手数料	整理費	山土場仕分費	距離	運賃	差引価格	判定
佐賀	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		14.5km	¥1,800	¥4,640	
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		60.2km	¥2,200	¥2,740	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		33.9km	¥1,900	¥1,550	
	輸出	¥7,000			¥103	62.7km	¥2,200	¥4,697	○
多久	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		9.5km	¥1,500	¥4,940	○
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		38.3km	¥1,900	¥3,040	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		29.3km	¥1,900	¥1,550	
	輸出	¥7,000			¥103	40.8km	¥2,200	¥4,697	
小城	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		9.5km	¥1,500	¥4,940	○
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		38.3km	¥1,900	¥3,040	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		29.3km	¥1,900	¥1,550	
	輸出	¥7,000			¥103	40.8km	¥2,200	¥4,697	
神埼	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		17.1km	¥1,800	¥4,640	
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		69.2km	¥2,200	¥2,740	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		42.8km	¥2,200	¥1,250	
	輸出	¥7,000			¥103	71.7km	¥2,200	¥4,697	○
唐津	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		20.0km	¥1,900	¥4,540	
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		33.7km	¥1,900	¥3,040	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		20.2km	¥1,900	¥1,550	
	輸出	¥7,000			¥103	36.2km	¥1,900	¥4,997	○
武雄	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		31.9km	¥1,900	¥4,540	
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		27.8km	¥1,900	¥3,040	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		37.2km	¥1,900	¥1,550	
	輸出	¥7,000			¥103	30.3km	¥1,900	¥4,997	○
伊万里	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		35.9km	¥1,900	¥4,540	
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		10.9km	¥1,800	¥3,140	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		24.8km	¥1,900	¥1,550	
	輸出	¥7,000			¥103	13.4km	¥1,800	¥5,097	○
鹿島	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		32.4km	¥1,900	¥4,540	
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		39.4km	¥1,900	¥3,040	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		47.0km	¥2,200	¥1,250	
	輸出	¥7,000			¥103	41.9km	¥2,200	¥4,697	○
嬉野	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		32.4km	¥1,900	¥4,540	
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		39.4km	¥1,900	¥3,040	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		47.0km	¥2,200	¥1,250	
	輸出	¥7,000			¥103	41.9km	¥2,200	¥4,697	○
太良	共販所	¥8,000	¥560	¥1,000		43.5km	¥2,200	¥4,240	
	伊万里	¥7,000	¥560	¥1,500		55.7km	¥2,200	¥2,740	
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200		62.6km	¥2,200	¥1,250	
	輸出	¥7,000			¥103	58.2km	¥2,200	¥4,697	○

県内地域別、出材先位置図(C材編)



地区名	出材先
多久	共販所へ
小城	
佐賀	輸出へ
神埼	
鹿島	
嬉野	
唐津	
武雄	
伊万里	
太良	

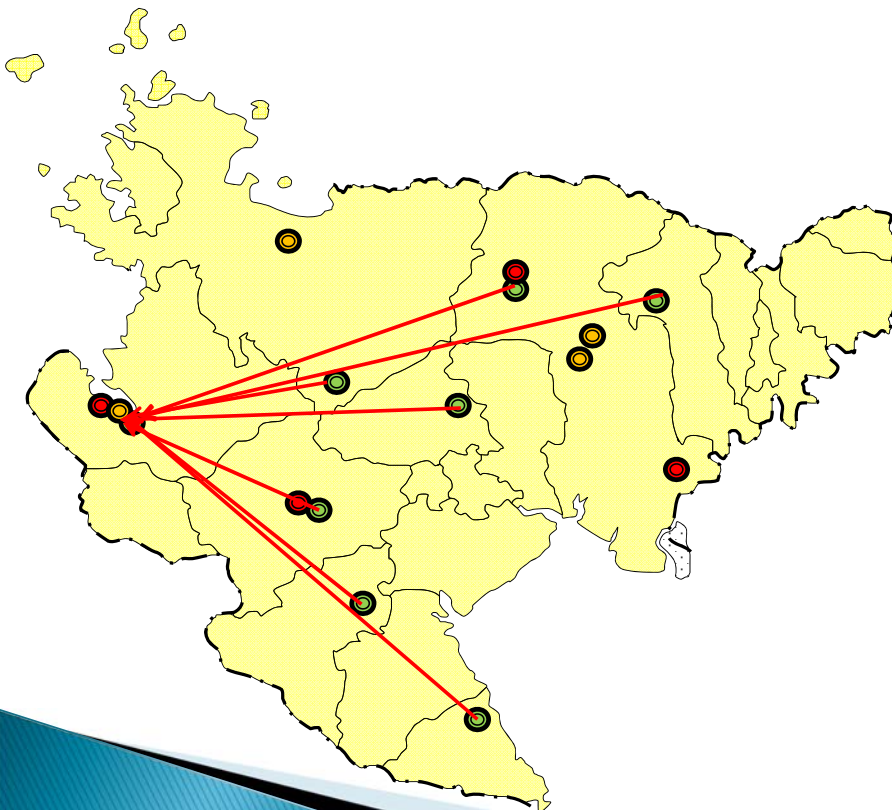
凡例	
	木材市場
	需要先
	森林組合

出材先比較表(D材編)

単位：m3当たりの価格

市町名	出材先	買取価格	手数料	整理費	山土場仕分費	距離	運賃	差引価格	判定
佐賀	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	14.5km	¥1,800	¥1,385	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	60.2km	¥2,200	¥3,697	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	33.9km	¥1,900	¥1,550	
多久	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	9.5km	¥1,500	¥1,685	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	38.3km	¥1,900	¥3,997	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	29.3km	¥1,900	¥1,550	
小城	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	9.5km	¥1,500	¥1,685	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	38.3km	¥1,900	¥3,997	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	29.3km	¥1,900	¥1,550	
神埼	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	17.1km	¥1,800	¥1,385	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	69.2km	¥2,200	¥3,697	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	42.8km	¥2,200	¥1,250	
唐津	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	20.0km	¥1,900	¥1,285	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	33.7km	¥1,900	¥3,997	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	20.2km	¥1,900	¥1,550	
武雄	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	31.9km	¥1,900	¥1,285	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	27.8km	¥1,900	¥3,997	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	37.2km	¥1,900	¥1,550	
伊万里	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	35.9km	¥1,900	¥1,285	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	10.9km	¥1,800	¥4,097	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	24.8km	¥1,900	¥1,550	
鹿島	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	32.4km	¥1,900	¥1,285	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	39.4km	¥1,900	¥3,997	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	47.0km	¥2,200	¥1,250	
嬉野	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	32.4km	¥1,900	¥1,285	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	39.4km	¥1,900	¥3,997	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	47.0km	¥2,200	¥1,250	
太良	共販所	¥4,500	¥315	¥1,000	¥0	43.5km	¥2,200	¥985	
	伊万里	¥6,000	¥0	¥0	¥103	55.7km	¥2,200	¥3,697	○
	唐津	¥5,000	¥350	¥1,200	¥0	62.6km	¥2,200	¥1,250	

県内地域別、出材先位置図(D材編)



地区名	出材先
佐賀	伊万里木材市場へ (中国木材(株) バイオマス発電用)
多久	
小城	
神埼	
鹿島	
嬉野	
唐津	
武雄	
伊万里	
太良	

凡例

- 木材市場
- 需要先
- 森林組合

生産コスト分析(A～B材の搬出→A～D材の搬出)

	市町	地区数	施工面積 (A)	素材生産量 (B)	ha当たり搬出量 (C)	生産経費 (伐採～運搬) (D)	素材販売収入			計 (H)	造林補助金 (I)	その他収入 (市町補助金等) (J)	収入計 (K)=(H)+(I)+(J)	収支計 (還元金) (L)=(K)-(D)	収支計 (ha当たり還元金) (L)=(A)
							(AB材) (E)	(C材) (F)	(D材) (G)						
A・B材搬出①	佐賀	3地区	6.97	281	47	4,410,687	3,704,424			3,704,424	2,840,290	495,737	7,040,451	2,629,764	377,298
	多久	1地区	1.40	95	68	2,015,807	743,169			743,169	1,415,860	203,560	2,362,589	346,782	247,701
	小城	1地区	1.70	112	66	1,816,587	980,152			980,152	1,219,070	181,050	2,380,272	563,685	331,579
	神崎	1地区	1.26	54	43	909,715	349,349			349,349	670,184		1,019,533	109,818	87,157
	唐津	5地区	2.45	141	58	2,174,489	1,315,042			1,315,042	1,464,061		2,779,103	604,614	247,185
	武雄	2地区	21.52	771	36	19,547,792	6,532,650			6,532,650	13,911,160	1,344,853	21,788,663	2,240,871	104,130
	伊万里	2地区	9.36	126	14	4,895,495	1,694,852			1,694,852	3,844,851	894,478	6,434,181	1,538,686	164,477
	鹿島	2地区	5.97	216	36	4,626,495	2,301,842			2,301,842	3,402,083	258,600	5,962,525	1,336,030	223,978
	嬉野	2地区	9.01	323	39	6,701,594	2,858,793			2,858,793	5,080,151		7,938,944	1,237,350	137,331
	太良	2地区	14.06	370	26	6,094,822	5,457,844			5,457,844	4,055,795	484,600	9,998,239	3,903,417	277,724
A～D材搬出②	佐賀	3地区	6.97	450	75	5,591,913	3,704,424	786,800	337,200	4,828,424	3,677,776	495,737	9,001,937	3,410,024	489,243
	多久	1地区	1.40	152	109	2,491,615	743,169	244,720	114,000	1,101,889	1,579,890	203,560	2,885,339	393,724	281,231
	小城	1地区	1.70	179	105	2,274,512	980,152	288,512	134,400	1,403,064	1,418,249	181,050	3,002,363	727,851	428,148
	神崎	1地区	1.26	86	69	1,137,301	349,349	151,200	64,800	565,349	768,630		1,333,979	196,678	156,094
	唐津	5地区	2.45	225	92	2,678,370	1,315,042	393,680	168,720	1,877,442	1,810,267		3,687,709	1,009,339	411,975
	武雄	2地区	21.52	1,233	57	23,776,835	6,532,650	2,157,400	924,600	9,614,650	15,591,097	1,344,853	26,550,600	2,773,765	128,892
	伊万里	2地区	9.36	202	22	5,642,776	1,694,852	354,087	151,751	2,200,690	3,995,124	894,478	7,090,292	1,447,516	154,649
	鹿島	2地区	5.97	345	58	5,484,757	2,301,842	603,400	258,600	3,163,842	3,867,735	258,600	7,290,177	1,805,420	302,415
	嬉野	2地区	9.01	516	62	7,917,617	2,858,793	903,000	387,000	4,148,793	5,866,791		10,015,584	2,097,967	232,849
	太良	2地区	14.06	592	42	7,949,344	5,457,844	1,036,000	444,000	6,937,844	5,153,940	484,600	12,576,384	4,627,040	329,092
増減②-①	佐賀	-	-	169	28	1,181,226	0	786,800	337,200	1,124,000	837,486	0	1,961,486	780,260	111,945
	多久	-	-	57	41	475,808	0	244,720	114,000	358,720	164,030	0	522,750	46,942	33,530
	小城	-	-	67	39	457,925	0	288,512	134,400	422,912	199,179	0	622,091	164,166	96,569
	神崎	-	-	32	26	227,586	0	151,200	64,800	216,000	98,446	0	314,446	86,860	68,937
	唐津	-	-	84	34	503,881	0	393,680	168,720	562,400	346,206	0	908,606	404,725	164,790
	武雄	-	-	462	21	4,229,043	0	2,157,400	924,600	3,082,000	1,679,937	0	4,761,937	532,894	24,762
	伊万里	-	-	76	8	747,281	0	354,087	151,751	505,838	150,273	0	656,111	△ 91,170	△ 9,828
	鹿島	-	-	129	22	858,262	0	603,400	258,600	862,000	465,652	0	1,327,652	469,390	78,437
	嬉野	-	-	193	23	1,216,023	0	903,000	387,000	1,290,000	786,640	0	2,076,640	860,617	95,518
	太良	-	-	222	16	1,854,522	0	1,036,000	444,000	1,480,000	1,098,145	0	2,578,145	723,623	51,368

3 「木材の需要拡大に向けた現地研修会」

中国木材株式会社 現地視察：伊万里市山代町

